

九谷焼(石川県)～端正にして優雅～

名工二人 山本 長左 宮本 暁 作陶展

期間：平成26年5月16日(金)～5月25日(日)

時間：午前11時30分～午後6時・木曜日は午後1時～午後6時、月曜日定休

彩遊の号 No.8

愛海詩の会
会報

平成26年5月15日発行

編集発行人/ギャラリー愛海詩
佐藤睦子

〒064-0821

札幌市中央区北1条西28丁目2番17号

TEL・FAX/(011)613-1112

WEBSITE

http://www.emishi-s.com

E-mail:kougei@emishi-s.com

作陶展、愛海詩の会へよせて

やっとめぐって来た、やわらかな暖かい深緑の季節に、ホッとさせているみなさんの心が伝わって来るようなこの頃です。北の街は一気に活気づき、めぐる薫風に何をか成さんの風情です。

かねてから思い、胸にあたためていた作陶展、九谷焼名工二人展、山本長左と宮本暁の作陶展を開催する運びとなりました。みなさんに見ていただきたい一心で、沢山おられる九谷焼の作家の中からお一人、セレクト致しました。七年ほど前石川県小松市で初めてお一人の作品と出合った時の感動と喜びを今でも忘れることができません。そして、その時の喜びも含め、みなさんと分かち合いたいと思います。手にとつて、本物かもう器の力量を感じて下さいませ。どうぞご高覧下さい。

また、手仕事による職人、作家を育む、北海道の文化的働きの底上げをするという愛海詩の会、役員一同も励んでおります。みなさまのより一層のご賛同、忌憚のないご意見をいただきたく思います。

(佐藤 睦子)



伝統工芸士 宮本 暁



吉田屋春汲出揃
急須の寸法 (巾10cm×高さ8.5cm)



草花絵変輪花皿
(直径21cm×高さ2.5cm)



右から 鋼型皿 さくら蓋物
秋の実皿
秋の実皿の寸法 (巾15cm×高さ2.5cm)



春香コーヒー碗皿
カップの寸法 (巾8cm×高さ8cm)

砂泉陶房 山本 長左



祥瑞色絵抹茶盃
(巾13cm×高さ7.5cm)



花鳥足付香炉
(巾11cm×高さ15cm)



コーヒー碗皿とポット
左のカップ寸法
(巾9.5cm×高さ6.5cm)



上、花鳥文三州浜皿
下、染色小紋松竹梅八角皿
八角皿寸法 (巾17cm×高さ4.5cm)

略歴
昭和32年10月27日生
昭和52年4月金沢美大日本画入学
昭和56年4月日本芸術院会員で文化勲章受賞の故浅蔵五十吉氏に師事
浅蔵氏の工房で内弟子として六年間修業
昭和58年日本現代工芸美術展初入選
昭和60年北國新聞社社長賞受賞
昭和67年北國新聞社社長賞受賞
平成7年北國新聞社社長賞受賞
平成8年教育委員会賞受賞
平成9年小松市長賞受賞
平成11年日本現代工芸美術家協会本部会員に推挙される
以後本会員出品

平成20年退会
昭和58年北陸現代美術展初入選以後七回入選
昭和61年第十八回展初入選以後八回入選
昭和62年伝統九谷焼工芸展初入選
昭和62年九谷焼デザインコンクール初出品
昭和63年優秀賞受賞
昭和63年北陸中日美術展初入選
平成2年金石マシオン・エントランス陶壁制作
平成4年大手町マシオン・エントランス陶壁制作
平成9年加賀屋あえの風陶壁制作
平成17年通商産業大臣指定 伝統工芸士に認定される
平成20年能美市児童館陶壁制作
平成21年ふるさと交流センター手洗鉢制作

略歴
平成二年六月 宮内庁より依頼を受け 天皇 皇后 両陛下 御紋入器を製作
平成二年十月 即位の礼「饗宴の儀」に使用の漆器を含む全和食器の菊花をデザインし食器七品目を製作をデザインし使用される 御紋入器を製作
平成三年四月 官内庁「饗宴の儀」和食器十一品目を納入
平成四年二月 秋篠宮家 眞子様 内祝菓子器製作
平成五年五月 皇太子様 雅子様 御成婚「饗宴の儀」に使用のオーロドブル皿製作
平成五年十月 雅子様 御紋入器を製作
平成七年六月 秋篠宮家 佳子様 内祝菓子器製作
平成十一年十月 日本政府より依頼を受け 国際度量衡局へメートル条約一二五周年記念の白磁金欄手大皿を製作
平成九年十月 秋篠宮家 悠仁様 内祝菓子器製作

勝手を申しますが、ギャラリー愛海詩、5月18日(日)研修のため、臨時休業させていただきます。

文筆家、小檜山 博氏 講演会

日時：平成26年5月24日(土) 午前10時～11時40分
演題：「ひとりでは生きられない」

一笑いと涙と感動の講演会一

会場：札幌市教育文化会館 4F 講堂
(札幌市中央区北1条西13丁目 TEL.011-271-5821)

入場料：2,000円 (先着150名様)

【略歴】
1937年 4月15日 北海道滝上町生まれ
1976年 小説『出刃』で北方文芸賞受賞
1983年 小説『光る女』で泉鏡花文学賞受賞・北海道新聞文学賞受賞
2003年 小説『光る大雪』で木山捷平文学賞受賞

【現在】
神田日勝記念美術館名誉館長
NPO法人北の映像ミュージアム館長
北海道文化財団理事
北海道労働文化協会理事

愛海詩の会「写経・座禅」のご案内

写経と座禅の持つ魅力は宗教を問わず、心身共に素晴らしいものです。未経験の方も安心していただける内容ですので、ご参加下さいませ。

日時：平成二十六年七月六日 午後一時三十分から午後四時半迄
二千五百円(納経料二千円当日別途、法話、お茶、お菓子付き)
浄園寺(札幌市西区山の手一条十二丁目一の二)
先着二十名様

愛海詩の会
副会長 小竹 徹哉
監事 葛西ひとみ